

本日の内容で最も印象に残った内容は何でしょうか？

食事指導の提案方法

同じ管理栄養士として川手先生の話はいつも参考になる

牛丼汁だけでなく汁なしができる

人を診ること

座位でなく少しは立ちましょう

栄養指導

心不全が癌より治療コストがかかっている事に驚きました。

塩分やタンパク制限を厳しくするより、今より「まし」を目指すことから始めて良い点

交感神経刺激による血管内ボリュームの変化が心不全を悪化させる

添付文書の情報は共通言語になり得ないというお話です。

黒瀬先生：健康運動指導士さんの講義を聞いたのは初めてでしたので、取り組みなど知ることができて良かったです。

黒瀬先生の運動について。

クリニカルイナーシャ

パネルディスカッション

栄養

心不全患者のセルフケア支援

病気の知識があっても、行動は必ずしも改善しない事

レジリエンスを高める支援とナラティブが必要であること

他分野でも共通することが多いと感じました

大橋先生のお話スライド共にとても分かりやすかったです。

連携の必要性

"セルフケアの重要性

運動について

腎臓病療養指導指導士の取り組み

減塩による低栄養について

川手先生の栄養指導は実践的で、臨床で活用したいと思いました。

みなさんの活動

ひと月のうち受診日の前後6日間だけでも生活改善することで、将来の着地点が変わると言われたことです。何事もポジティブに捉えて生活指導を続けます。

運動身体活動は短時間でも積み重ねることが大切。量を確保し、次に強度アップという流れ

パネルディスカッション

運動習慣がない場合

運動療法と腎臓病療養指導士の栄養士さんの活動について

それぞれ大変勉強になりました。病院薬剤師と薬局薬剤師の連携、小分け運動の有効性、自己の気付きを促す大切さ、塩分過剰だけにとらわれない、栄養障害問題、具体的な減塩方法、交感神経活性抑制も考慮など。どれも印象に残りました。

適減サポート、運動効果、薬剤管理サマリーを生かした病院薬剤師→保険薬局への連携

心不全の塩分制限

心不全＝塩分制限でないということ

運動は長くした方がよいこと

川手先生のご活躍

川手先生の栄養指導の具体的例（カップ麺の減塩方法など）早速、使わせていただきます。川手先生の病院内だけでなく、市民の方に直接接したり会えない方にはオンラインさらにビデオ作成も考えて指導を広げていこうとされているところ

1日2500歩でHbA1cが、0.7も下がるということ。

測定値を記録すると予後がいい。患者さんにも伝えたい。

運動の実施方法、時間

最後のパネルディスカッション

腎臓病

高齢者に対する塩分摂取の考え方等 栄養指導。

教育教材をご自分達で作成して療養指導に役立てておられた事

多職種連携

座位

服薬フォローアップについて

京都透析食腎臓病食研究会を知ったこと。

子供教育

食事 運動

腎臓病療養指導士さんの幅広い活発な活動内容

栄養

川手先生の講演で京料理透析食の世界発信

高血圧治療について、医療機関の問題が大きいこと

いかに患者に現状を把握させて、出来そうなことから指導して、次の段階に向かわせるか
ディスカッション内容全て

心不全の悪化要因について。体重増加や検査値だけでは評価できない症例について

心不全

栄養士さんの実践的食事指導

全部

生活の持続を大事に

"黒瀬先生にはスキルアップ委員として大変お世話になっております。ありがとうございます

す。

黒瀬先生の運動療法もそうですが、桂病院の井手先生がお話しされたチームでの取り組みなど、とても関心が湧きました。コロナ禍で活動がし辛いですが、所属施設でも様々な工夫を凝らし、頑張らなければと感じながら聴講致しました。ありがとうございました。"

患者と医療者のゴールを同じにする

食事指導

食事指導

メンテナンスヘルスケア

運動についての講演がとても分かりやすく、即療養指導に役立てられると思いました

患者さんに、いかに運動療法と食事療法を、バランス良く続けて貰える様援助する事の大切さを学びました。少しずつでも続ける事が大切。

"黒瀬先生の

- ・運動は、やりたいではなくやれそうなものを選択する。
- ・1週間単位で運動時間の調整が可能。"

実践されている内容のお話が聞けてとても勉強になりました。

たくさんの療養指導士があることを知りました。